



ヤッター！ホールインワン



2月12日・13日スポーツ振興会主催のスポーツ教室が中学校体育館で行われました。寒い日でしたが、寒さを忘れてグランドゴルフに熱中！

6チームが参加して、優勝は学校チーム、2位はJAチーム、特別賞はふれあいセンターの阿武さんが獲得しました。JAチームが、ホールインワンを多くたたき出しましたが、優勝に届きませんでした。大変盛り上がったスポーツ教室になりました。

見島保育園 凧揚げ大会



1月19日(土)見島小中学校グラウンドにて凧揚げ大会を行いました。この日は、お天気も良く、風も吹いていたため、絶好の凧揚げ日和でした。昔はお正月になると、凧揚げやコマ回しをしている子供を見かけていましたが、最近はゲームをしたりテレビを見たりと部屋の中で遊ぶことが増えたように思います。しかし、この日ばかりは皆思い思いに描いた凧に弘中保貴さんと中家勲さんに凧糸を縛ってもらい、空高く揚がり、大喜び!!!子ども達の元気に走り回る姿を見て、とても微笑ましく思いました。

女性サロン健康教室開催



健康は丈夫な足元から! 1月31日(木)午後1時30分から萩市健康増進課保健師渡辺さんと西原管理栄養士さんが来られ健康教室が開催されました。この日は、朝から天気も悪く雨でした。日中だんだん風も出てきて海も少し荒れ模様……。足元の悪い中でしたが、参加者も多く、来られて最初に血圧を測って頂き、少し血圧のお話と転倒予防についてのお話がありました。その後、順番に足指力計測器で自分の足指の力がどれくらいあるのかひとり一人測定して頂きました。年を取るとほとんどの人は足指力量が少ないと思っていましたが、そんな事はありませんでしたよ。高齢の人の方が力量がとても有ってびっくりしました。参加された方の中で力量が強い人で女性5kg、男性で7kgの方がいらっしゃいました。計測器を指で挟む時にコツがあるようです。後、みんなで輪になり筋力アップ体操。新聞を片手で丸め、丸まった新聞を両足で指先をうまく使いながら捻げる。又、新聞を両足の指を使ってたぐりよせるようにして新聞紙を丸めたりと皆さん難しく悪戦苦闘されていました。足の指でジャンケンも頭もいっしょに動くので脳も刺激されとても良かったです。

男性料理教室

2月1日(金)10時から男性の料理教室が開催されました。健康増進課の渡辺さんと西原さんのご指導の下、「大根1本使いきり!簡単フライパン料理に挑戦」というコンセプトで、主役は大根でした。冬に時期を迎える大根ですが、なかなか一本使い切る事が出来ずにいるご家庭も多いかと思えます。メニューは麻婆大根、大根ステーキ、和風ミネストローネでした。包丁やフライパンを使って、楽しく調理していました。調理時間も早く、40分程度で出来上がっていたので驚きました。特に大根ステーキは、レンジである程度火を通すので、フライパンでは焼き色が付くまで焼くという時短メニューなので、忙しい主婦の方でも作れそうでした。最後には、出来上がった食事を皆で美味しく食べて、楽しい時間に満足されていました。作り方が気になる方は、公民館までお問合せ下さい。



見つけた!!



白と水色の小さな小さな可愛いオオイヌノフグリの花を足元で見つけた。春になると畑のやっかい物の草だ。しかし、花けのない今日この頃、なんだか嬉しくなり、思わず足をとめ、「ふぐりちゃん。もう咲いたの」と手をさしのべた。ふぐりちゃんは、やさしい声で「だってだって、もうすぐ春ですよー。」とばあちゃんは「そだね!」独り言を言った。

1月24日午後のひとときでした。

河内 富江

見島の歴史（149）

教育（続）

学制の歩み

見島中学校開設当時(続)

職業科

前に述べた様に、中学校に職業科があり、学校の田、畑があつて、その作業には、全校生徒が参加して農業実習を行っていたが、3年生になると農業科と水産科に分れ、それぞれ専任の先生が担当していた。水産科では、冬の時化を利用して、漁業に従事している有識経験者を招いて教壇に立ってもらっていた。昭和25年前後から、機関を専門としていた福永英太郎氏を講師として、機関の初歩から、故障の修理までを教わっていた。氏が辞めて後、数年間中断していたが、再び進学組と就職組に分れ、農、漁業にかかわらず就職組に対して職業科的な講座がもたれるようになり、福永邦昭氏が、航海について講座を持つ様になった。昭和38年から40年の3年間で、冬期の休漁日を利用して行い、1年間約20時間の授業で、小型船舶操縦士を受験出来る内容のものを教えた。中学校を卒業して、即漁業に従事しようとする生徒は、直ちに役立つものとして、真面目に勉強した。しかし、次第と進学者が増して行った為に、職業的な講座もなくなっていった。

見島青年学校

見島青年学校の前身は、大正15年(1926)6月に設立、認可。同年7月に開所された「見島青年訓練所」である。青年訓練所は、4年制で、小学校高等科卒業生が対象であった。校舎は独立したものはなく、小学校の教室を使用していた。開所当時、75名の訓練生数であり、毎年若干の増減をみつつ、昭和9年(1934)には、59名であった。教職員として、主事1名、他指導員が数名在任した。主事は小学校長の兼務であり、指導員は小学校教員や島民の中の有識者や指導的立場の人が当たっていた。昭和19年(1944)、青年学校として独立し、運動場東側に校舎が建設され、初代青年学校長として、見島小学校教員の左野英太郎氏が就任。教員数名が常勤し、別に指導員として数名の非常勤がいた。この非常勤の人々は、軍隊生活を経験して、島の在郷軍人会に所属していて、主として軍事教練を受け持っていた。昭和20年(1945)8月15日に終戦を迎えて後も、青年学校は存続したが、軍事教練は、なくなった。そして職業教育に変わっていった。

昭和22年(1947)3月、中学校制の創立と共に廃校となった。同年5月、見島村立見島中学校創設に伴い、青年学校校舎は、中学校校舎の建設まで、仮校舎として使用された。その後、校舎は解体され、現在、跡地には、教員住宅が数棟建築されている。

(内容に疑義がありましたら、見島公民館までお問い合わせ下さい)

わたしの作品紹介

俳句

☆ペンギンのごとく 着ぶくれて 見るオーロラ

☆必殺仕事人のごとし ぶり殺める

☆ボランテイヤ 笑顔広がる 春の風

短歌

☆節分に 子供にかえり 鬼の役

やっつけられて ひと時遊ぶ

☆焼餅が まっ黒焦げで 煙立ち

こりやまあどうか びっくり思案

☆七転び八起きでおきる ダルマさん

一にも二にも がんばり通す

五行歌

☆取りたての 野菜の みずみずしさ

少しの塩分だけで 甘味際立つ

☆久しぶりに 亡母の夢をみた もう一度会いたい

でも なぜか背を向ける

☆濃い緑の 景の中に やぶ椿の花

顔を出し 春はすぐそこ

厚母 裕子



山本 美佐枝



山本 勇次



燃やせるごみ (毎週 月・木曜日)

燃やせないごみ等の収集日 (祝日も回収いたします)

第1水曜日	3月 6日 (水)	プラスチック製容器包装
第2水曜日	3月 13日 (水)	資源ごみ (缶、ビン、ペットボトル)
第3水曜日	3月 20日 (水)	燃やせないごみ
第4水曜日	3月 27日 (水)	資源ごみ (缶、ビン、ペットボトル)



～高速貨客船「ゆりや」竣工披露式のお知らせ～

日時：3月24日 (日)

(萩港での式典 9:30～ 萩商港岸壁)

竣工披露式 (本村港) 11:50～12:20

竣工披露式 (宇津港) 12:30～12:40

- ・テープカット
- ・挨拶
- ・小中学生による歓迎の演芸
- ・餅まき
- ・船内見学 (本村港) 13:20～13:40

- ・挨拶
- ・餅まき
- ・船内見学 (宇津港) 12:40～13:00

これからの行事予定

- 3月3日 (日) 農協女性部 総会
- 7日 (木) なみっこクラブ (1歳半・3歳児健診保健指導)
- 13日 (水) 見島小中学校 卒業式
- 16日 (土) 絵手紙教室
- 20日 (水) 教育講演会
- 23日 (土) 見島保育園 卒園式
- 24日 (日) 新船就航祝賀会



このほか、三味線、大正琴を毎週実施します。

人口 760 男 401
(1月末現在) 女 359 世帯数 447